
新生奇譚

さとう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新生奇譚

【Nコード】

N2947BA

【作者名】

さとう

【あらすじ】

知らない時代、知らない場所に繰り返し目覚める男。それは、いつから始まったのかさえ忘れてしまった。男はこの果てしない目覚めからの終わりを求め彷徨い続けていた。

魂の解体

目覚めたのは見知らぬ世界、誰もいない、たった一人の孤独な世界。

ここに自己は無い、存在の孤独を噛み締め、幽かに残ったいつかの憂いの残響が体内に響くのを感じる。

寄る辺ない夢現のまにま、漂い、揺られ、あらゆる感覚から引き離されて、失われた記憶の断片にうなされる。

かつて何者であったのか、どこにいたのか、朧気な残像がちらつき輪郭が浮かび上がるが、瞬く間に霞となってしまう。

荒涼の大地を越え、空っぽの自分に魂を取り戻し、当て所ない精神の放浪を終えるため、救いを求め祈られずにはいられない。

しかし、心無き祈りに力はなく、捧げられし信仰も薄弱な偽物であり、それは天上へ運ばれることなく無残に散ってゆく。

散りゆく願いは魂無き己にも似て、果てを知らない寂寞の大地を目指し去って、決して還ることはない。

寂寞の地にて唯一人泣き叫ぶ、絶望の中の希望はなによりも篤く、尊いものへ変わった。

篤き救済願望により道は現れ、信仰に彩られた願いによって最善の理は生まれる。

道理は祈りの言の葉より与えられ、音を光の導きを知らせる。

光に導かれ、地平に顕現したのは黄金の扉。

金色に輝く扉、その向こうには聖なる世界が広がる。

新しい世界、再び生まれる、繰り返される命、そうしてまた見知らぬ世界へ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2947ba/>

新生奇譚

2012年1月7日17時55分発行